

プログラム

総会・受賞講演

平成 28 年度大気環境学会総会

日時：平成 28 年 9 月 8 日（木） 13:00 ～ 15:20

会場：北海道大学工学部 オープンホール

1. 年会総会

- (1) 大気環境学会年会長挨拶
- (2) 大気環境学会賞及び論文賞の表彰
- (3) ポスター賞の発表
- (4) 学会賞（進歩賞） 受賞講演

座長： 畠山 史郎（埼玉県環境科学国際センター）

ナノ粒子をはじめとするエアロゾルの測定およびエアロゾル化手法の開発

藤谷 雄二（国立環境研究所）

2. 定時総会

- (1) 大気環境学会会長挨拶
- (2) 来賓祝辞
- (3) 議長選出
- (4) 議事
 - ① 平成 27 年度事業報告、収支決算報告及び監査報告
 - ② 平成 28 年度事業計画及び収支予算報告
 - ③ 大気環境学会役員を選任
 - ④ 名誉会員の推戴
 - ⑤ 第 58 回大気環境学会年会開催地
 - ⑥ 第 59 回大気環境学会年会開催地
 - ⑦ その他

論文賞

大気環境学会誌第 50 巻および AJAE 第 9 巻（平成 27 年）

（最優秀論文賞）

トレーサー法を用いたわが国の硫酸塩濃度に対する国内外の発生源寄与評価
[50 巻 3 号]

（板橋 秀一、速水 洋）

（ノート・速報部門）

水田土壌からの亜硝酸ガス（HONO）直接発生フラックスの測定および大気濃度への寄与評価[50 巻 6 号]

（峰島 知芳、中根 令以、島田 幸治郎、利谷 翔平、
佐藤 啓市、大山 正幸、寺田 昭彦、細見 正明）

（技術調査部門）

関東地方の夏季高濃度 O_3 の長期的濃度変動要因の検討と前駆物質濃度削減効果の予測評価[50 巻 6 号]

（上野 広行、齊藤 伸治、國領 和夫）

（学生・若手部門）

能登半島珠洲における PANs、有機硝酸エステル濃度の季節変動[50 巻 1 号]

（石山 絢菜、高治 諒、定永 靖宗、松木 篤、
佐藤 啓市、長田 和雄、坂東 博）

（AJAE 部門）

Numerical Analysis on Biogenic Emission Sources Contributing to Urban Ozone Concentration in Osaka, Japan [9 巻 4 号]

（Hiroshi Nishimura, Hikari Shimadera, Akira Kondo,
Kazuyo Akiyama and Yoshio Inoue）

特別集会

- 特別集会 1 反応性窒素の沈着プロセスおよび沈着量評価研究の現在
特別集会 2 原子力防災と大気環境研究の接点を探る
特別集会 3 全国の環境研究機関の連携による「PM_{2.5}の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明」
特別集会 4 新規採取法及び細胞・動物曝露実験による PM_{2.5} の健康影響決定要因の同定ー環境省推進費 CYCLEX プロジェクトの趣旨と展望
特別集会 5 PM_{2.5} 計測・観測における課題と展望
-

特別集会 1 【反応性窒素の沈着プロセスおよび沈着量評価研究の現在】

日時： 平成 28 年 9 月 8 日（木） 15：40～18：00

世話人： 松田 和秀（東京農工大学）

会場： A 会場（B11）

座長： 櫻井 達也（明星大学）

講演：

- 窒素循環の人為攪乱がもたらす環境影響： 窒素沈着はその典型
林 健太郎（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
農業環境変動研究センター）
- 観測に基づく反応性窒素の沈着速度および沈着量評価
松田 和秀（東京農工大学）
- 数値モデルによる反応性窒素の沈着量評価
板橋 秀一（茨城大学）
- HONO を含む窒素酸化物由来成分の挙動
野口 泉（北海道立総合研究機構）
- 反応性窒素の大気ー陸面交換研究の最近の動向
堅田 元喜（日本原子力研究開発機構）

特別集会2 【原子力防災と大気環境研究の接点を探る】

- 日時：** 平成28年9月8日（木） 15：40～18：00
世話人： 大原 利真（国立環境研究所）
会場： B会場（B12）
座長： 大原利真（国立環境研究所）、鶴田治雄（リモート・センシング技術センター）
講演：
- (1) 福島における大気環境中の放射性物質の現状と課題
渡邊 明（福島大学）
 - (2) 原子力発電所事故に対する計画的な意思決定ツールの必要性
村尾直人（北海道大学大学院工学研究院）
 - (3) 北海道における原子力防災対策
稲津 将（北海道防災会議原子力防災対策部会有識者専門委員・北海道大学）
 - (4) 自治体における原子力防災と大気環境研究－兵庫県の取組から－
堀江 洋佑（兵庫県環境研究センター）

特別集会3 【全国の環境研究機関の連携によるPM_{2.5}の短期的/長期的環境基準超過をもたらす汚染機構の解明】

- 日時：** 平成28年9月8日（木） 15：30～18：00
世話人： 山本 勝彦（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）
佐藤 健（秋田県健康環境センター）
会場： C会場（B32）
座長： 板野泰之（大阪市立環境科学研究所）
山神真紀子（名古屋市環境科学調査センター）
講演：
- (1) 第5期共同研究の概要
菅田 誠治（国立環境研究所）
 - (2) 2014年2月に発生したPM_{2.5}高濃度事象の要因解析-広域観測とモデル
熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）
 - (3) 閉鎖性海域周辺におけるPM_{2.5}汚染に関する一考察
梶田 奈穂子（愛知県環境調査センター）
 - (4) 全国PM_{2.5}成分測定結果から見た高濃度日における地域別/季節別化学組成の特徴
熊谷 貴美代（群馬県衛生環境研究所）
 - (5) 全国多地点におけるPMF解析結果と抽出された因子の特徴
池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）
 - (6) 化学輸送モデルを用いたPM_{2.5}の発生源寄与解析
小松 宏昭（神奈川県環境科学センター）
 - (7) 全国常時監視データを用いたPM_{2.5}の年平均及び日平均に関する解析
長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）
 - (8) PM_{2.5}測定法に関する研究
山川 和彦（元京都府保健環境研究所）
 - (9) 第6期共同研究の目的と概要
山本 勝彦（(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所）

特別集会 4

【新規採取法及び細胞・動物曝露実験による PM_{2.5} の健康影響決定要因の同定—環境省推進費 CYCLEX プロジェクトの趣旨と展望】

日時：平成 28 年 9 月 8 日（木） 15：40～18：00

世話人：奥田 知明（慶應大・理工）

会場：D 会場（B31）

座長：奥田 知明（慶應大・理工）、高野 裕久（京大院・工）

講演：

- (1) 環境省推進費 CYCLEX プロジェクトの趣旨と展望およびバーチャルインパクトとサイクロンによる大流量 PM_{2.5} 採取

奥田 知明（慶應大・理工）

- (2) PM_{2.5} の炭素成分測定におけるアーティファクトの影響と低減可能性

長谷川 就一（埼玉県環境科学国際センター）

- (3) PM_{2.5} に含まれる多環芳香族化合物の分析

亀田 貴之、東野 達（京都大院・エネルギー科学）

- (4) PM_{2.5} 健康影響評価研究の現状と展望

高野 裕久、本田 晶子（京都大学大学院 工学研究科
都市環境工学専攻 環境衛生学講座）

特別集会 5 【PM_{2.5} 計測・観測における課題と展望】

日時：平成 28 年 9 月 9 日（金） 10：00～12：00

世話人：田中 茂（慶應義塾大学）

会場：A 会場（B11）

座長：坂本和彦（アジア大気汚染研究センター）

講演：

- (1) PM_{2.5} 酸性度 (pH) の測定の課題と展望

田中 茂（慶應義塾大学）

- (2) PM_{2.5} 中の化学成分の分析・観測における課題と展望

星 純也（（公財）東京都環境公社 東京都環境科学研究所）

- (3) β 線吸収法と蛍光 X 線法の組合せによる自動計測装置 (PX-375) による微量金属成分の計測への展望

松本 絵里佳（㈱堀場製作所）

- (4) エアロゾル複合分析計による PM_{2.5} 成分分析における課題と展望

長谷川 祥樹（富士電機株式会社）

分科会

1. 都市大気環境モデリング分科会

テーマ： 大気質シミュレーションの環境政策への適用に向けて
～光化学オキシダントモデルの現状と課題～

日時： 平成 28 年 9 月 7 日（水） 16:15～19:00

世話人： 山地 一代（神戸大学）

会場： A 会場（B11）

座長： 茶谷 聡（国立環境研究所）

講演：

- (1) 政策面からの大気シミュレーションモデルの活用について
船越 吾朗（環境省大気環境課）
- (2) 光化学オキシダントシミュレーションの現状と課題
河見 博文（日本気象協会）
- (3) 化学輸送モデルを使った発生源寄与解析・削減対策評価の現状と問題点
永島達也（国立環境研究所）
- (4) 0x 高濃度化の立体構造把握とそのモデル再現を目指して
櫻井 達也（明星大学）

2. 健康影響分科会

テーマ： 曝露評価のための大気汚染物質のモデル活用

日時： 平成 28 年 9 月 7 日（水） 16:15～19:00

世話人： 上田 佳代（京都大学）、金谷 久美子（京都大学）

会場： B 会場（B12）

座長： 金谷 久美子（京都大学大学院医学研究科）

講演：

- (1) 大気汚染物質の分布予測を目的とした land-use regression model の開発とバリオグラム導入による精度向上
山本 浩平（京都大学大学院エネルギー科学研究科）
荒木 真（天津市保健所、大阪大学大学院工学研究科）
近藤 明（大阪大学大学院工学研究科）
- (2) 大気汚染物質輸送モデリングとその曝露評価への応用
五藤 大輔（国立環境研究所）
- (3) 大気汚染物質の曝露と虚血性心疾患の関連性の断面調査：2 種類の大気拡散モデルを用いた大気曝露評価
堺 温哉（一般財団法人日本自動車研究所）

3. 自動車環境分科会・都市大気エアロゾル分科会共催

テーマ： 沿道大気汚染の現状－PM 成分にも注目して－

日時： 平成 28 年 9 月 7 日（水） 16:15～19:00

世話人： 山田 裕之（交通安全環境研究所）、高橋 克行（日本環境衛生センター）

会場： C会場（B32）

座長： 高橋 克行（日本環境衛生センター）

講演：

- (1) 一般環境における元素状炭素濃度の経年変化と自動車排出ガス規制
山神 真紀子、池盛 文数（名古屋市環境科学調査センター）
長田 和雄（名古屋大学）
- (2) 道路沿道環境における微小粒子状物質（PM_{2.5}）及びナノ粒子に及ぼす要因に関する調査研究：その 1 沿道における測定結果
藤谷 雄二、小林 伸治（国立環境研究所）
沿道 PM_{2.5}・ナノ粒子研究会
- (3) 道路沿道環境における微小粒子状物質（PM_{2.5}）及びナノ粒子に及ぼす要因に関する調査研究：その 2 自動車からの排出量推計手法の検討
小林 伸治、藤谷 雄二（国立環境研究所）
沿道 PM_{2.5}・ナノ粒子研究会
- (4) 都内沿道における粒子状物質中成分の継続観測と炭素成分ごとの放射性炭素同位体分析
萩野浩之、森川多津子、伊藤晃佳（一般財団法人日本自動車研究所）

4. 環境大気モニタリング分科会

テーマ： 光化学大気汚染対策における VOC の役割

日時： 平成 28 年 9 月 7 日（水） 16:15～19:00

世話人： 米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）、斎藤 勝美（イサラ研究所）、
中嶋 吉弘（東京農工大学）、星 純也（東京都環境科学研究所）、
賢持 省吾（東亜 DKK）

会場： D会場（B31）

座長： 米持 真一（埼玉県環境科学国際センター）

講演：

- (1) 日本における光化学オキシダント汚染の現状と課題
板野 泰之（大阪市立環境科学研究所）
- (2) 大気中光化学オゾン生成速度の直接測定
定永 靖宗（大阪府立大学）
- (3) 自主的取組のための VOC 等簡易計測器精度評価事業（環境技術実証事業）
藤原 雅彦（公益社団法人日本環境技術協会）

5. 室内環境分科会

テーマ： 寒冷地における室内空気質
ーこれからの室内汚染対策のためのベストミックスー

日時： 平成 28 年 9 月 7 日（水） 16:15～19:00

世話人： 奥平 純子（千葉大学）
光崎 純（製品評価技術基盤機構）
篠原 直秀（産業技術総合研究所）
野口 美由貴（成蹊大学）
水越 厚史（近畿大学）

会場： E会場（C214）

座長： 篠原 直秀（産業技術総合研究所）

講演：

- (1) 北海道の住宅性能と省エネルギー・室内空気環境に関する課題
村田 さやか（北海道立総合研究機構）
 - (2) 北海道における化学物質による室内空気汚染の事例
小林 智， 武内 伸治， 千葉 真弘（北海道立衛生研究所）
-

6. 植物分科会

テーマ： 森林における CO₂ 固定とオゾンの影響

日時： 平成 28 年 9 月 7 日（水） 16:15～19:00

世話人： 三輪 誠（埼玉県環境科学国際センター）、渡辺 誠（東京農工大学）

会場： F会場（C309）

座長： 渡辺 誠（東京農工大学）

講演：

- (1) 北海道北部の森林における CO₂・オゾンフラックスの長期モニタリング
高木 健太郎（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター）
- (2) 高 CO₂・オゾン環境における樹木の成長応答
北尾 光俊（森林総合研究所北海道支所）

7. 酸性雨分科会

テーマ： 広域大気汚染影響評価におけるリモートセンシングの活用

日時： 平成 28 年 9 月 7 日 (水) 16:15~19:00

世話人： 皆巳幸也 (石川県立大学)、藍川昌秀 (北九州市立大学)、
井上智博 (千葉県環境研究センター)、岩崎綾 (沖縄県衛生環境研究所)、
大原真由美 (元・広島県立総合技術研究所保健環境センター)、
木戸瑞佳 (富山県環境科学センター)、
佐藤啓市 ((一財)日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター)、
堀江洋佑 ((公財)ひょうご環境創造協会 兵庫県環境研究センター)、
松本利恵 (埼玉県環境科学国際センター)、
山口高志 ((地独)北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)、
野口泉 ((地独)北海道立総合研究機構 環境・地質研究本部)、
村野健太郎 (法政大学)

会場： G会場 (C310)

座長： 佐瀬 裕之 ((一財)日本環境衛生センターアジア大気汚染研究センター)

講演：

- (1) 植物機能のリモートセンシングと時空間情報解析 —細胞~地球環境—
大政 謙次 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
 - (2) リモートセンシングを用いたアジア内陸黄砂発生源地域における地表面変化抽出への新発見
星野 弘方 (酪農学園大学)
 - (3) 摩周湖周辺の樹木減少についての調査
山口 高志 (北海道立総合研究機構 環境科学研究センター)
-

8. 臭気環境分科会

テーマ： 臭気に関する最近の話題

—札幌市の臭気規制とでんぷん工場排水臭気、畜産臭気について—

日時： 平成 28 年 9 月 7 日 (水) 16:15~19:00

世話人： 増田淳二 (大阪市立環境科学研究所)、
上野広行 (公益財団法人東京都環境公社 東京都環境科学研究所)、
重岡久美子 (公益社団法人におい・かおり環境協会)、
祐川英基 (祐川環境カンファレンス株式会社)、
高橋通正、樋口能士 (立命館大学)、樋口隆哉 (山口大学)

会場： H会場 (C206)

座長： 重岡 久美子 (公益社団法人におい・かおり環境協会)

講演：

- (1) 札幌市における臭気対策について
金盛 竜朗、溝口 翔、藤田 将、菅原 祐雄 (札幌市環境局)
- (2) 馬鈴しょでんぷん工場排水から発生する悪臭の特性と対策事例
樋口 隆哉 (山口大学大学院創成科学研究科)
- (3) 家畜排泄物およびその処理過程で発生する臭気物質について
花島 大 (国立研究開発法人農業・食品技術総合研究機構
北海道農業研究センター)